

<p style="text-align: center;">情報リテラシ (Information Literacy)</p>	<p style="text-align: center;">1 年・通年・2 単位・必修 情報工学科・担当 上野秀剛</p>	
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)</p>		
<p>〔講義の目的〕 コンピュータを最大限に利用して様々な問題を処理するためには、積極的かつ自主的に問題解決に取り組む意思や意欲のほか、問題解決するための様々なツール（道具）を使いこなせる必要があります。このツールを自由自在に取り扱うためには、そのツール特有の操作方法や使用目的を十分に理解しておく必要があります。この科目では、コンピュータを最大限に利用するために、身につけておかなければならない必要な基本的な事項、知識、そして、技能を身につけます。</p>		
<p>〔講義の概要〕 この科目では、大きく分けて2つのカテゴリーに分けて講義します。まず、情報工学を学ぶ上で必要なルールと言うべき情報倫理について、次に、コンピュータを道具（ツール）として、使用するためのテクニックである情報リテラシを習得します。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 実習・レポートがあるので欠席しないことが一番重要です。レポートは期限を守って提出するようにしてください。授業時間内で終了しなかった課題については各自放課後等の時間を利用してやり遂げるようにしてください。出題された課題に取り組むことはもちろん、普段から情報技術に関して興味を持ち、資格取得に向けて積極的に自学自習に取り組んでください。また、情報を適切に収集、整理、加工、発信、交換する方法について、日常生活においても意識するようにしておきましょう。</p>		
<p>〔到達目標〕ペーパーテストは実施せず、課題、演習により到達度を評価する 前期中間時点： 1) 情報倫理の理解 2) ログイン、キー入力など基本的なPC操作の理解 3) 情報収集方法の理解 4) メールによる情報伝達方法の理解 前期末時点： 1) 情報整理、発信方法の理解 2) ワードプロソフトを用いた文章作成能力の理解 3) 表計算ソフトを利用したデータ整理方法の理解 後期中間時点： 1) プレゼンテーションソフトを使った情報発信方法の理解 2) web ページの作成 学年末時点： 1) アルゴリズムについての理解 2) 適切なツールを利用して情報を総合的に収集、整理、加工、発信する能力の獲得</p>		
<p>〔評価方法〕 ・課題、レポート、実習による評価、e-Learning および学年末に実施するテスト 80% ・情報リテラシに対する取組 20% 上記の取組点は、情報処理技術者試験の資格取得や情報オリンピック、各種コンテストの参加、授業内での取組に対して配点を行うものです。</p>		
<p>〔教科書〕 ネットワーク社会における情報の活用と技術 岡田 正ら著（実教出版発行） 〔補助教材・参考書〕 教員作成 e-Learning コンテンツ</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕 この科目以後の本学科におけるプログラミング言語を使用する科目の基礎となります。また、情報工学科の学生として、あらゆる場面でのコンピュータの使用状況における全てに関連があります。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評 価 ＊
第 1 週	情報を学ぶ意義とは	ガイダンス、“情報および工学とは”について説明する	
第 2 週	パソコンの使い方	パソコン使用方法全般についての演習を行う	
第 3 週	情報セキュリティ	パスワードの重要性について理解させる	
第 4 週	メールによる情報伝達	キーボード入力とメールによる情報伝達に関する実習を行う	
第 5 週	ソフトウェアの利用 I	表計算ソフトで簡単な演算に関する演習を行う	
第 6 週	ソフトウェアの利用 II	プレゼンテーションソフトと画像処理方法に関する演習を行う	
第 7 週	ハードウェア	パソコンの内部や処理方法について理解させる	
第 8 週	ワープロソフトの利用	Word を利用して文書作成の演習を行う	
第 9 週	自己アピールプレゼン	プレゼンソフトによる自己紹介の発表会を行う	
第 10 週	情報発信と個人の責任	情報発信で留意する点について理解させる	
第 11 週	Web ページの構造	Web ページ作成に必要な html を理解させる	
第 12 週	簡単な Web ページの作成	html を用いて自己紹介 HP を作成させる	
第 13 週	課題作成日	これまでの課題作成を行う	
第 14 週	プレゼン資料作成日	プレゼン資料の作成を行う	
第 15 週	プレゼン発表会	PowerPoint を使って、情報の送受信に関するプレゼンを行う	
前期期末試験は実施しない			
第 16 週	情報発信方法の理解 1	PowerPoint を使って、プレゼンテーション演習を行う	
第 17 週	情報発信方法の理解 2	PowerPoint を使って、プレゼンテーション演習を行う	
第 18 週	html の理解 1	html の基礎についての講義を行う。	
第 19 週	html の理解 2	html を用いて簡単なホームページの作成を行う。	
第 20 週	ホームページの作成	ホームページ作成ソフトの利用方法を理解する。	
第 21 週	企画書作成 1	企画書を作成する目的，方法を理解させる。	
第 22 週	企画書作成 2	テーマに基づいて企画書を作成するための，情報収集を行う。	
第 23 週	企画書作成 3	テーマに基づいて企画書を作成する。	
第 24 週	アルゴリズム 1	アルゴリズムの基本について理解させる。	
第 25 週	アルゴリズム 2	フローチャートなどを用いて基本的なアルゴリズムを表現する。	
第 26 週	プログラミング導入 1	Scratch を使用し、プログラムの構造を理解する。	
第 27 週	プログラミング導入 2	Scratch を使用し、簡単なプログラムを作成する。	
第 28 週	情報発信方法の理解 3	作成したプログラムについてのプレゼンテーションを行う。	
第 29 週	最新技術体験	Web アプリケーションなどを安全に利用する方法を理解する。	
第 30 週	まとめ	授業内容の総復習を行い，習得した能力を活かすための演習を行う。	
学力補充期間（学年末試験は実施しない）			

＊ 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 （達成） （達成） （達成） （達成） （達成）